

平成29年

目黒区教育委員会

第37回定例会会議録

(平成29年10月3日開催)

第37回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成29年10月3日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	後藤 幸子
	教育委員会委員	櫻井 道雄

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	石松 千明

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- | | | |
|------|------|---------------------------------|
| 日程第1 | 報告事項 | 平成29年度児童・生徒体力・運動能力調査の結果について |
| 日程第2 | 報告事項 | 平成29年度青少年健全育成事業（国内交流事業）実施結果について |
| 日程第3 | 報告事項 | 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について |

資料配布

- ・防犯ブザー電池破裂事案に関するお願いの配布について
- ・教育職員の人事異動について

(午前9時30分開会)

- 教育長 第37回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は櫻井委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 平成29年度児童・生徒体力・運動能力調査の結果について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がございますか。
- 委員 中学2年生の女子の記録が出ていますけれども、全国平均を下回っているところがやや気になるのと、以前、校長先生から中学の女子は運動させないと個人差がすごく大きくなるという話を聞きました。部活をしている子としていない子で運動の基礎体力が全然違ってくると思うので、少し配慮して、運動が充実してできて、体力向上にもつながるようなことを考えていただきたいと思います。
- 説明員 ご指摘のとおり、全国でも保健体育以外の時間に運動しないという子どもが4分の1近くおまして、その子どもたちをどう運動させていくかということが課題になっております。
本区でも同様の傾向がございますので、今、第十一中学校と第九中学校がスーパーアクティブスクールという東京都からの委託を受けて、運動しない子どもをいかに運動させるかという取り組みを行っておりますので、今後どう運動させていかせられるかということも研究してまいりたいと思います。
- 委員 20メートルシャトルランとハンドボール・ソフトボール投げに、目標値に高めていくと書かれていますが、ボールを投げるということを体育の授業の中でさせるということがあるのでしょうか。
しっかり上から投げられずに押し出すというような、股関節を回せずに投げているという光景をよく見ますけれども、ボールを単純に投げるというだけのことを小学校の体育の授業の中でさせているのでしょうか。
- 説明員 子どもたちが多様な動きを身につけなければいけないということで、学習指導要領の改訂が行われ、多様な動きを身につける運

動遊びですとか、多様な動きを身につける運動が入ってきて、年間を通して行います。その中に、ボールを取り扱った運動がありますので、実際にボールを投げさせることが可能です。

ただ、時間数がわずかですので、運動会の玉入れも含めて、ボールを投げる運動、それからドッジボールですとか的当て、バスケットボールなど、ボールを投げる機会をなるべく増やしていく取り組みはしてございます。

○委員 持久走が全国レベルよりもいい数字が出ていますが、何か特別なことをなされたのですか。

○説明員 1校1取組運動という形で、子どもたちの体力を上げようという中で、小学校は業間体育、あるいは放課後の時間を使ったり、さまざまな行事等を使って行います。しかし、中学校はなかなかそういったことができませんので体育の時間に走り込みをするということを主にさせています。要するに持久走に継続的に取り組ませるということを1校1取組運動として行うことがあって、中学校ではこの持久走のタイムが上がっていると分析しております。

○教育長 毎年、結果報告を聞いていて、大変頼もしいと思っておりますけれども、今年度はまだ29年度の生活運動習慣等調査は出ていません。

28年度でいいですけども、目黒区の体力・運動能力がなぜ東京都の平均を上回っているのでしょうか。

○説明員 生活運動習慣等調査については、まだ都から返却されていませんので、返却され次第、ご報告させていただきます。

昨年度の調査結果を見ますと、一つは毎日運動している割合が国や都よりも高いということ。それから運動が「好き」「やや好き」という割合も都の平均値を上回っているということが挙げられます。特に課題としては、中学校の女子の運動が「やや嫌い」「嫌い」という生徒の割合が男子より7.8ポイント高いということで、女子に運動を好きにさせるということが課題だと思っています。

一方で、体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と思っているのは小学校で9割以上、これは大きな影響を与えていると思っておりますが、中学校だと、都の平均値は上回っていますが、「楽しい」と思っている生徒の割合と「やや楽しい」と思っている生徒の割合の合計が、男子は下回っているというようなどころがありますので、体育の授業を男子が楽しいと思えるような授業改善

が必要と考えているところです。

○教育長 生活習慣に絞ってお伺いしますが、この体力運動能力と生活習慣との相関関係が、28年度の調査結果であらわれているのでしょうか。

例えば、食育との関係とか歯磨き運動との関係、そういうもののクロス集計がなされているのか、なされていないのか。具体的に何を調査したのか、もう一度お話しいただけますか。

○説明員 生活習慣は全部で17問の設定があるのですが、「運動部やスポーツクラブに入っていますか」という所属の問題、それから「運動やスポーツをどれくらいしますか」、これは「毎日しますか、時々しますか、月に1回程度ですか」というような質問と、「朝食を食べますか」「1日の睡眠時間は」「1日にどれくらいテレビを見ますか」「1日に携帯電話・タブレット端末・ゲームやパソコンはどれくらいしますか」という質問、それと先ほど申し上げた「授業は楽しいですか」という、スポーツに関する質問をしているところがございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成29年度青少年健全育成事業(国内交流事業)実施結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 いい事業が再開されましたが、ホストファミリーの受け入れ世帯の確保が困難になっているということの原因と、それに対する対策はお考えでしょうか。

○説明員 ホストファミリーは、現在、JAみやぎ仙南角田地区青年部のお子さんがある世帯のみで受け入れをいただいておりますが、青年部そのものが少なくなっているということ、お子さんを持った青年部の方が少なくなっているという状況です。青年部は40歳以下ということですので、JA全ての世帯ということではありませんので、どうしても少なくなっているという状況です。

青年部に限らず、青年部のOBの方たちまで対象にすれば、もう少し増えると考えておりますが、向こうの体制の問題がござい

ますので、難しいところです。

スポーツ交流館等の施設がございましたので、今後、どういう形でこの事業を継続していけばいいかは、今後検証していきたいと考えてございます。

○委員 青年部が少ないというのが事実で、避けられないとしても、青年部のOBの方たちに引き受けてもらうとか、ホストファミリーを増やすという努力をお願いするという取り組みは必要だと思います。

参加したい子が増えているという状況なので、ぜひ全員が参加できるような形で取り組んでいただければと思います。

○説明員 青年部とも十分協議をし、角田市に行きたいという目黒区の子どもが増えておりますので、全員が行けるよう、今後調整していきたいと思います。

今まで青年部で実施していたという経緯がありますので、OBまでというのは難しいかもしれませんが、どういうことが一番いいのかということを考えれば、角田市に目黒の子どもたちが行っているいろいろな体験をして、そして今後の人生に生かすということですので、これは十分検討していきたいと思います。

○委員 青年部の方々は使命感を持っているのですか、それともかなり少なくなっていて負担感があるのか、どうなのでしょう。

○説明員 青年部については、目黒の子どもが来てうれしいということで使命感を持っておられると思います。

○委員 ホストファミリーのお宅に子どもたちが滞在するというところで、そこの交流も非常に有意義なことだと思いますが、農業・農村体験学習に着目すれば、ホストファミリー宅、個人宅に泊まらなくても、例えばどこかの旅館とかいう方向性もあると思います。

今後、事業を拡大していきたいのか、このまま10人という枠の中で実施していくのか、方向性はどうか考えているのでしょうか。

私の要望としては、拡大をして、なるべく多くの子どもたちに、農村体験などを体験してもらいたいという気持ちがあります。また、各学校で体験に行った子が報告会のような、児童の前で角田市での体験を話す機会はあるのでしょうか。

○説明員 事業の拡大の関係でございますが、参加者の増ということで申し上げますと、今のホストファミリーの事業を継続するという中では難しいかと考えています。

しかし、ホームステイのよさがございますので、できればホス

トファミリーでもう少し世帯が増えれば一番いいと思います。できなければ、先ほど申し上げましたように、市の施設でスポーツ交流館がございますので、そういった施設を利用することも考えられますが、これにつきましては、角田市の青年部と十分協議をして、その上で今後進めたいと考えています。

事業としては拡大したいと考えてございますが、ホストファミリーの数の問題がございますので、どういう形が一番いいかは今後検討していきたいと思っております。

2点目の各学校での報告会でございますが、直接は聞いておりませんが、特に報告会は行っておりません。

○委員 貴重な体験をしてきている児童なので、子どもたちの負担になるといけません。例えば画用紙1枚でもいいので書いてもらうとか、絵と写真でも感想を書いてもらうなどの工夫をし、今後の事業の継続のことも考えていただきたいと思います。これは要望です。

○教育長 震災以降、初めて教育委員会の事業として再開できたということは、これは大変素晴らしいことだと思いますし、再開に向けて、所管で努力されたことには、深く敬意を表したいと思います。

28年度は先行して月光原小のOBと緑ヶ丘小のOBの自主的な角田市の訪問事業を行いました。その事業に対し、公費としてバス代を支出してはいますが、そのときの参加者人数はわかりますか。

○説明員 28年度でございますが、緑ヶ丘小学校につきましては、春の田植えに34人、秋の稲刈りが35人、合わせて69人です。月光原小学校につきましては、春の田植えが19人、秋の稲刈りが33人、合わせて52人です。

また、29年度の春でございますが、緑ヶ丘小は21人、月光原小は32人です。

○教育長 希望者全員が行けるというような形をとっているのですね。

○説明員 緑ヶ丘小と月光原小につきましては、区の支援といたしましては交通費となります。おっしゃるとおり希望者が全員参加している状況です。

○教育長 各委員から質疑がありましたように、この事業を今後どうするのかということは、大きな課題として共通認識されたと思います。

ホームステイ事業はハイリターンで、事業負荷としては大きいですが、受け入れ側の問題が最大のネックです。相手方が

あることですので、ここで書かれた課題を踏まえて、今後どうい
う方向性に持っていくのかを、来年度かどうかはわかりませんけ
れども、ぜひ検証していただきたいと思います。これは要望です。

- 教育長 その他ご質問等ございますか。
 特にないようでしたのでこの報告を受けました。
 次に日程第3を議題とします。

(日程第3 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございますか。
 特にないようでしたのでこの報告を受けました。

〔 資料配布
 ・防犯ブザー電池破裂事案に関するお願いの配布について
 ・教育職員の人事異動について
〕

- 教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時18分閉会)